

令和2年度

事業報告書及び附属明細書

社会福祉法人中東福祉会

目 次

(事業報告書)

法人本部の事業概要	1
重点項目・地域交流報告	3

(附属明細書)

苦情・事故件数	19
事業所別年間利用者数及び稼働率	20
職員数の推移	21
職員有資格者数	22
職員研修参加数	23

事業報告書

法人本部の事業報告（事業概要）

年月日	事業名	概要
4月1日	辞令交付式 管理者会議・新人オリエンテーション	※新型コロナウイルス感染防止のため中止
5月12日	双研日栄監査法人による監査	於. 本部
13日	〃	於. 本部
14日	〃	於. 本部 双研日栄監査法人より監査報告書受理
5月19日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
5月20日	法人監事決算監査	於. 法人内施設
21日	〃	〃
5月27日	令和2年第3回理事会	於. 五泉市福社会館大会議室 出席者 理事7名 監事2名 議題 新型コロナウイルス感染症対応について 定款の一部改正について 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 職員給与規則の一部改正について 給食業務委託に係る契約期間の延長について 令和元年度事業報告について 令和元年度決算について 令和2年第2回評議員会の開催について
6月9日 他	正規職員採用試験 (令和3年4月1日付採用) (令和2年度中途採用)	於. 本部 正規職員外部11名、内部1名合格 正規職員7名合格
6月11日	令和2年第2回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員6名 理事2名 監事2名 議題 新型コロナウイルス感染症対応について 定款の一部改正について 給食業務委託に係る契約期間の延長について 令和元年度事業報告について 令和元年度決算について
9月2日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
10月8日	令和2年第4回理事会 (書面決議)	議題 新型コロナウイルス感染症対応について 理事長の職務執行状況について 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 慶弔見舞金規程の一部改正について
10月8日 22日	新人若手職員研修 〃	於. 帛の郷憩いのホール 〃 参加者 計33名
10月20日	高卒程度採用試験	於. 本部 正規職員1名合格
11月9日	第12回、第13回賞罰委員会	於. 帛の郷憩いのホール
12月2日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール

年月日	事業名	概要
12月8日	令和2年第5回理事会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者 理事6名 監事2名 賞罰委員会について 新型コロナウイルス感染症について 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 令和2年度資金収支補正予算（第1号）について 令和2年第3回評議員会の開催について
12月15日 16日	新型コロナウイルス感染症 対応協議会	於. 帛の郷憩いのホール 於. 五泉市福祉会館大会議室
12月16日	令和2年第3回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員7名 理事2名 監事2名 議題 賞罰委員会について 新型コロナウイルス感染症対応について 令和2年度資金収支補正予算（第1号）について
令和3年1月4日、5日	理事長年頭挨拶	於. 法人内各施設
1月20日 21日 22日	正規職員理事長面談 " "	於. うずらはし・満日の里 於. 五泉中央サポートセンター・法人本部 於. 菅名の里・第二いずみの里
1月28日	令和3年4月採用職員研修	於. 帛の郷憩いのホール
2月9日	令和3年第1回理事会 （書面決議）	議題 新型コロナウイルス感染症対応について 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 職員給与規則の一部改正について 施設長等の任免を含む人事異動について ※新年度事業計画・予算説明文書配布
2月17日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
3月4日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
3月10日	令和3年第2回理事会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者 理事7名 監事2名 議題 理事長の職務執行状況について 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 役員等の報酬の支給に関する規則の一部改正について 令和2年度資金収支補正予算（第2号）について 令和3年度事業方針について 令和3年度資金収支予算について 役員賠償責任保険の保険料負担について 令和3年第1回評議員会の開催について
3月18日	令和3年第1回評議員会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者 評議員6名 理事2名 監事2名 議題 新型コロナウイルス感染症対応について 役員等の報酬の支給に関する規則の一部改正について 令和2年度資金収支補正予算（第2号）について 令和3年度事業方針について 令和3年度資金収支予算について
3月31日	退職者辞令交付式	於. 帛の郷憩いのホール

法人施設の事業報告（重点項目・地域交流・防災）

障 害 福 祉 事 業 部		課 題 等
計 画		報 告
施設名 いずみの里	○重点項目	
	(1) 生活介護・日中一時支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個別の障害特性や意向、課題を把握して作成された個別支援計画に沿った質の高い生活支援を多職種協働によるチーム編成によって提供する。また、専門職種がチームとなつて、サービスの質を高めながら支援を提供する。
	(2) 施設入所支援・短期入所事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度高齢化や障害特性支援及び介護技術の習得に努め、より専門的な施設入所支援及び在宅利用者への短期入所サービスを提供する。強度行動障害のある利用者への行動手順書を作成し、より専門的で統一した支援を提供する。
	(3) 居宅介護等事業（フレンド）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や社会資源と連携し、在宅利用者が地域で充実した生活が送れるよう居宅介護計画に基づいた生活支援及び介護サービスを提供する。また、福祉有償運送事業における安全運転教育を徹底し事故防止に努める。
(4) 共同生活援助事業（陽だまり）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの意思を尊重し、地域の中で安心して自分らしい個性的な生活が送れるよう支援する。老朽化した住居については、引き続き関係者と協議を進め計画的な住み替え、建て替えを検討する。また、働き方の多様性に即した勤務形態の見直しも行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働によるチームを3つに再編成し、園内研修等を通じ障害特性を知り、作業メニューや作業環境を見直したことで、これまでより質の高いサービスを提供することができた。利用者の高齢化対応についても、高齢福祉事業部から理学療法士の派遣協力を得て、これまでより質の高いサービスを提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画がこれまで以上に機能する ・更なるサービスの質の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性について多くを学び、また利用者個々の障害特性に応じた環境を整えたことで、発達障害を持つ短期入所利用者を多く受け入れられることができた。受入れの際には、感染症予防対応を徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画及び行動手順書が、これまで以上に機能する
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対応を徹底し、サービスの提供を優先し不急の外出支援は控え、通院介助等の利用を優先し予定を組んだ。 ・「キャンセル待ち」の仕組みを導入し、より多くの利用者を受け入れることができた。 ・安全運転教育を徹底し、事故なくサービスを提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率化を図りつつ、質で満足してもらおうサービスを提供する
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したグループホームを2棟廃止し、高齢重度化に対応できるグループホームを新たに1棟開設した。それに伴い、多くの利用者が引越した事になったが、説明や準備を徹底したことで、混乱することなく新たな住居で生活することができた。 ・夕刻のみ勤務の世話人を採用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な建替え、住替えの協議を継続する ・スマートフォンによるインターネットトラブルを予防する

施設名	計画	報告	課題等
いずみの里	<p>○地域交流・防災</p> <p>・いずみの里・陽だまりとともに日頃から地域の行事等に積極的に参加し、地域の一員として安心して暮らしていける体制を築く。同時に納涼祭、地域合同防災訓練等によって、地域住民との協働作業を通じて、災害時における相互協力体制を更に強いものとする。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症予防対応によって、大規模な地域行事等は開催出来なかった。</p> <p>・新たに作成した『いずみ郷大規模自然災害対応マニュアル』に沿った訓練を繰り返し行った。</p>	<p>・災害マニキュアルに沿った各種訓練を徹底することで災害に備える</p>
自立就労センターいずみ	<p>○重点項目</p> <p>(1) 自立訓練(生活訓練)事業</p> <p>・日常生活の向上に向けた支援や社会適応訓練などを行う。知的障害の他に自閉症、発達障害など利用者の障害特性が多岐にわたり、個別のニーズと課題が多種多様の中、個々人の生活能力の維持・向上のために必要な個別支援計画に沿った支援プログラムの拡充と地域生活を営む上での「自立」に向けた支援に努める。</p> <p>(2) 就労継続支援A型事業</p> <p>・法人との雇用関係に基づき、就労に必要な知識や能力の向上に向けた支援を行う。施設外就労や工房・喫茶店業務を提供する中で業務のスキルアップを図り、悩み事の相談を受けるなど精神面の支援を継続することと「働きがい」が実感でき就労が継続できるように支援する。併せて、利用者の意思や能力に応じた職場開拓や求職活動を行う。</p> <p>(3) 就労継続支援B型事業</p> <p>・生産活動などに係る知識及び能力の向上や維持に必要な支援を行う。多種多様な生産活動や受託作業を提供する中で利用者の潜在能力を引き出し、工賃の向上を含め「働く喜び」を感じるよう作業種目や受託業務先の開拓を進める。清掃を中心とする施設外就労や喫茶店業務などにも、より多くの利用者が関わられるように対応する。又、一般就労を希望される利用者に対し、就職に向けたサポート体制を確立し、就労に必要な訓練や求職活動に関する支援を行う。</p>	<p>・軽度知的障害についての特性を学び、利用者のニーズに応えるサービス(対人スキルや基礎学力、手指の機能向上のトレーニング)を提供することができた。</p> <p>・一人暮らしやグループホームの生活ができるよう、各種トレーニングを行った。</p> <p>・特別支援学校に事業所説明会の開催を働き掛け、参加した。</p> <p>・施設外就労や工房業務、受託作業等を提供する中、各種課題について、利用者と並走しながら関係機関と連携し解決を図った。</p> <p>・悩みごとや相談を受け、精神的なサポートを行った。</p> <p>・地域住民や関係機関の協力を得ながら、新たな取り組みとして、贈茶業務の里芋栽培及び箱詰め販売を事業化した。また喫茶業務を移動販売業務に事業化した。その過程で業務内容を精査し、これまで変動的であった業務を固定化することができた。業務が固定化することで、利用者個々の障害特性に合った支援を提供できるようになった。</p> <p>・作業環境を整え、利用者個々が集中して作業に取り組めるようになった。利用者の評価をより正確にできるようになった。</p>	<p>・新規利用者獲得に向けた働きかけ</p> <p>・特別支援学校との連携の継続</p> <p>・スマートフォンによるインターネットを予防する</p> <p>・工賃の向上(移動販売と受託作業の強化)並びに実際に就労支援ができて、新規利用者を獲得する</p> <p>・スマートフォンによるインターネットを予防する</p>

施設名	計画	報告	課題等
自立就労センター ターイズみ	<p>(4) 就労定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス利用後、一般就労に伴い生じる日常生活や社会生活を営む上での課題に対応できるよう関係機関や家族等と連絡調整の上、相談、指導、助言等について必要な支援を行う。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域合同の納涼大会、地元町内会との交流等を実施し、地域住民とのふれあいを通じて相互理解を深め、地域交流を図っていく。 防災については、定期的に避難訓練を実施し、利用者及び職員との安全確保に努める。また、関係機関との連絡体制を整備し、情報共有と連携を密にする。 	<p>実際の就労に結びついた利用者をバックアップする制度だが、昨年度、該当する利用者がいたものサービスの利用希望までには至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防対応によって、大規模な地域行事、ボランティアの受入等が出来なかった。 新たに作成した『いづみみ郷大規模自然災害対応マニュアル』に沿った訓練を繰り返し行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個々のスキルを高め、就労支援を行う 災害マニュアルに沿った各種訓練を徹底することで災害に備える
第二いづみの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化による重度化には、基礎的生活能力の向上と健康の保持、体力の増進を図るために必要な支援を行う。身体的機能低下や認知機能の低下が危惧される利用者にはリハビリ支援に努める。障害の多様化には、個々の発達障害や強度行動障害等の特性及び成育歴を理解した支援に努める。 <p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設入所支援は、個別支援計画に沿って利用者個々のニーズに応じたた個別性のある質の高い支援を目指す。また、利用者が安全・安心に過ごせることができるよう、一人ひとりに寄り添いながら、生活の場としての施設環境づくりに進める。短期入所は、安定した事業運営とともに、在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため、関係機関と連携を図りながら緊急対応にも可能な限り受け入れられるよう体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人内理学療法士による評価及び、リハビリ手順作成へのアドバイスをもらい、個別リハビリの手順作成と実施ができた。集団レクリエーションでは、楽しみながら身体機能維持に効果のある内容を検討し実施した。また、個別・集団ともに定着してきた。 強度行動障害者への支援では、定期カンファレンスや小ミーティングを開催し、課題を共有し支援を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職員による評価に基づいたリハビリの実施 強度行動障害等の特性及び成育歴を理解した支援
	<ul style="list-style-type: none"> デイールームでの密集を避けるため、居室や各寮のリビングルームで快適に変化に対応できるように、定期的にカンファレンスを開催し現状の情報共有を行った。課題に対しては定期カンファレンスに加え随時会議を開催し、安全・安心に過ごすことができるよう個別の支援に力を入れた。 在宅利用者に対しては、出来る限り利用を受け入れ、緊急利用要請にも対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢による身体機能低下や疾病の予防、口腔ケア等の取り組み強化 	

施設名	計画	報告	課題等
第二いずみの里	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流行事に積極的に参加すると同時に、納涼祭等施設の行事にも協力・参加してもらうことにより、相互理解を深める。また、毎月の各種防災訓練の他にも、地域合同防災訓練を実施し災害時の協力体制を構築する。危険回避が難しい利用者の命を守るため、施設内外の安全対策を強化する。 	<p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策として、納涼祭は中止となった。 ・毎月の避難訓練では、火災時避難訓練に加え大規模自然災害（土砂・地震・災害による停電）を想定したシミュレーションを実施した。 ・地域合同防災訓練は、参加者数の限定等規模を縮小し、感染予防対策を行い実施した。 	<p>課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害時の訓練を利用者を実践するための実施
満日の里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員が作成したサービス等利用計画を基本に、個別支援計画を作成しこれに基づいて多職種が連携して統一した支援を提供する。高齢による重度化には身体機能低下防止のため、リハビリ支援の充実や感染症予防に努める。特に強度行動障害等の支援については環境を整え、より専門性の高い支援を行う。 <p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所支援については個別支援計画に沿って、利用者個々のニーズに応じた質の高い支援を目指す。また、短期入所は在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため関係機関と連携を図り、緊急対応にも可能な限り受け入れられるよう体制を整える。 <p>(3) 相談支援事業（まんにち）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族と相談しながら将来を見据えたサービス等利用計画を作成し、必要な社会資源や関係機関等とのネットワークを活用した支援を行う。 	<p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の内容を基本に、計画に沿ったサービスの提供に努めた。 ・身体機能低下防止のため、園の内外の歩行やラジオ体操やDVDによる体操を行った。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため利用を一部制限したり活動場所を別棟で行ったりと施設入所者と交わらないよう配慮した。 <p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所支援についても個別支援計画の内容を基本に、計画に沿ったサービスの提供に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため一時帰省や外泊を制限したかわりに、施設としての外出の機会を増やし心身の安定に努めた。 ・緊急の場合を除き短期入所の利用も控えていただいた。 <p>(3) 相談支援事業（まんにち）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談契約人数延べ309名（年度途中契約終了者含む）の相談ケースに対して、サービス等利用計画の作成とモニタリングを実施した。 ・LINEを活用し、日中連絡が取りにくいご家族等と連絡調整がしやすくなるよう努めた。 ・週1回の伝達会議を開催しケースの進捗状況の確認や制度及び社会資源に関する情報共有を図った。 	<p>課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの提供と新型コロナウイルス対策のバランス <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの提供と新型コロナウイルス対策のバランス <ul style="list-style-type: none"> ・新しい加算の算定に向けた取り組み ・遠隔地の利用者の引き継ぎ

施設名	計画	報告	課題等
満日の里	<p>(4) 居宅介護等事業（まんいち）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ方が地域の中で暮らしを続けるために、居宅介護等計画に基づいて必要なサービスの提供を行う。その為に計画的に強度行動障害支援等の各種研修に参加し、専門的な知識及び技術の習得を図る。また、福祉有償運送事業における職員の安全運転の徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護計画に基づき、利用者や家族のニーズに応えるため新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらサービス提供を行った。しかしながらサービスの提供量については大幅に減らさざるを得なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収支を考えたサービスの提供
	<p>(5) 自立生活援助事業（まんいち）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身で生活をする利用者、定期的な巡回訪問や随時通報を受けての訪問を行い日常生活を営む上での問題を把握し、相談対応や助言、情報提供、関係機関との連絡調整等、自立した生活を営む為に必要な助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ5名の利用者に対して、個別支援計画に基づき定期的な訪問や同行支援、随時訪問を提供することができた。 ・自立に向けた個別のニーズに対応し、それぞれの利用者にあった支援を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の獲得
	<p>(6) 共同生活援助事業（なでしこ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活を希望する利用者のニーズに応え、自分らしく安全快適な生活が出来るよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応えるため、個別支援計画に基づいた支援を提供することができた。また利用者個々の状態にあった生活の場を検討し提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の充足 ・感染症対策
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等による交流を積極的に推進し地域に開かれた施設を目指す。同時に地域との合同防災訓練を実施し、災害時の応援協力体制を更に強いものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で癒しの福祉ゾーンの行事や催し物がすべて中止となり地域との交流が図ることができなかった。 ・地震や火災想定避難訓練を繰り返し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・阿賀野川の増水による避難訓練の継続実施
障がい者デイサービスセンター 明日葉	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度・重複障害、高齢化などに対応したサービスや、自立の促進、身体機能の維持向上を目的とした様々なサービスの提供し、障がいのある方の社会参加と福祉の増進を支援する。地域活動支援センターからの移行利用者に対しては、現行のサービス内容の低下がないよう十分配慮し、さらなるサービス向上を目指すとともに、医療依存度の高い利用者を含め新規利用者の獲得を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重度、重複障害、高齢の利用者を積極的に受け入れてサービスを提供した。また、理学療法士を配置して自立促進、身体機能の維持向上のためのリハビリメニューを個別作成し提供した。 ・前年度から地域活動支援センターから生活介護事業に移行したが、理学療法士を配置することによりリハビリ支援が充実してサービス内容が向上した。 ・相談機関と連携をして積極的に施設見学を受け入れたことで新規利用者の獲得に繋がったが、入院や施設入所した利用者も多く実利用者数としては横ばいだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の充足 ・感染症対策

施設名	計画		報告	課題等
明日葉	<p>(2) 新潟市障がい者デイサービスセンター経過措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域において雇用・就労が困難な在宅障害者がい者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを実施し、自立と生きがいを高める事業を実施する。現行利用者に対しては、現行サービスの低下がないよう十分配慮し、利用者にとつて居心地の良い生きがいを感じられる場所及びサービスを提供する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを実施した。特に機能訓練では理学療法士を配置したこと自立につながる専門的な訓練を実施した。 ・生活介護に当てはまらない経過措置の利用者に対してサービスの上につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策
きなせ家	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた施設づくりと、地域住民との交流機会、利用者の日中支援の充実等を目的に地域団体の皆様の慰問等の積極的な受入れや、職員・利用者が地域のイベント等に積極的に出向き参加する。また新潟市総合福祉会館での合同防災訓練に参加し併設されている事業所と連携を図り利用者の安全に配慮する。 <p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、生産活動の一層の充実と達成感の持てる活動内容の工夫に努める。また、社会参加を目的とし外出の機会も取り入れていく。発達障害、強度行動障害等、利用者の特性に合わせた支援内容の見直しや環境の整備を行う。 <p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が生きがいをもって地域生活が送れるよう個々に合わせた作業提供・就労支援を行う。施設外就労での技術やマナーの習得に取り組むとともに、自主製品の開発・販売拡大に取り組む。また、就労に向けた体験や関係機関とのネットワーク構築にも努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策の関係で地域交流については自粛した。 ・新潟市総合福祉会館での合同防災訓練には2回参加し、併設されている事業所とも連携を図り利用者の安全対策に配慮することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流と新型コロナウイルス感染症予防対策のバリエーション
	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動ではレクリエーションの種類を増やし、また集中し且つ楽しんで参加できるよう進行や関わり方を工夫した。 ・感染症予防のため人が集まる場所への外出を控え、ドライブや室内行事を実施した。 ・必要な方に対して支援手順書に沿った支援を提供した。また、座席の配置、衝立による個別スペースの確保等、ワンフロアで出来る環境調整を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防策の徹底 ・特別支援学校や他事業所との連携強化による重度障害者の受入れ 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・自主製品製作、段ボール型抜き作業、緩衝材袋詰め、介護保険施設受託清掃、メーكل便配達、配水場清掃等の作業活動を、個々の能力や希望に合わせて提供した。 ・イベントの中止が相次ぎ、自主製品販売収入が大きく減少した。 ・農福連携事業として9～10月に3回、栗農園の収穫作業に参加し、次年度も継続することになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスを行う市外事業所との競合及び自力通所困難者の増加→送迎サービスの実施の検討、準備

施設名	計画	報告	課題等
さなせ家	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 五泉市の委託による事業として、創作活動・生産活動・地域活動など個々に適した活動の提供に努めるとともに積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日は生産活動やレクリエーションを提供した。土曜日は工作、カラオケ、おやつ作り、DVD鑑賞、近隣散策などの活動を計画的に実施した。希望者への入浴サービスも継続して行った。 新型コロナウイルス感染症予防のための行動自粛により、毎年恒例の「サンサンクラブ」は中止となり、その他地域における交流活動等も控えざるを得なかった。 1名の方が次年度4月からの就労継続支援B型事業の利用契約につながった。 	
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 五泉市南公園や五泉駅周辺などの地域の清掃活動を積極的に行う。また、施設利用者の通所時の交通災害等に注意を促す。また避難訓練や消火訓練等も実施し利用者の安全に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 散策を兼ねた南公園ごみ拾い活動は、感染予防のための行動自粛により控えざるを得なかった（4月に1回のみ） 8月と12月に、子育て支援センター職員と合同での火災想定避難訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民と連携した防災活動の実施
さくらの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の介護や訓練の継続・充実に努める。併せて、個々に応じた達成感をもてる個別活動や生産活動の提供及び散策・ウォーキングなどで機能維持・健康増進を図る。また、発達障害、強度行動障害等利用者の特性に合わせた支援内容の見直しや環境の整備を行い、構造化や視覚支援等見直しを持たせながら支援を行う。併せて、社会参加を目的とした外出の機会も取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に沿った支援や介護、訓練、個別活動や生産活動を継続して実施した。さくらアリーナを活用すること天候に係わらず機能維持に努めることができた。 障害の特性に合わせた視覚支援等で見通しを持たせ、支援手順書に基づいた統一した支援を行うことで安心して利用できるよう努めた。 安全に活動できるスペース確保のためにフロア内外の環境整備を継続し、衝立・仕切り板の活用等で感染予防にも努めた。 行事は感染予防のため施設内行事としたが、単調にならないよう新たな工夫を加え利用者を楽しんでいただけよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害の重度、多様化に伴う支援技術の向上 個別支援計画の充実 自己選択ができる機会の提供

施設名	計 画	報 告	課題等
さくらの里	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が誇りを持って働き、生きがいを持って地域生活が送れるよう、個々に合わせた作業提供・就労支援を行う。施設外就労の充実・自主製品の開発や販売拡大にも引き続き取り組む。また、就労に向けた体験や関係機関とのネットワークの構築に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿って個々に合わせた作業提供、就労支援を継続して行った。 ・施設外就労は感染症の影響で1ヶ所契約が保留となった。自主製品の販売も新型コロナウイルス感染症予防の観点からイベントがほぼ中止となり、6ヶ所の常設販売所のみ販売となった。 ・新たな受託作業を受け定期収入につなげたことで利用者の工賃維持に努めた。 ・農福連携事業の体験を通して関係機関や社会資源とつながる事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の加齢等による作業能力の低下に伴う作業種目の見直し。 ・利用者にあった自主製品の開発。 ・農福連携事業の継続
	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市の委託による事業として、生産活動・創作活動・地域の委託による事業として、生産活動・創作活動・憩いの場の提供に努めた。 ・地域貢献や地域で暮らす障害者の交流を目的に継続してきた「サンサンクラブ」は感染症予防の観点から中止としたが、身近な外出等で社会体験の機会を取り入れた。 ・生産活動の提供を経て、2名の方を就労継続支援B型事業の利用契約につなげることができた。 		
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛宕小学校との交流会を引き続き実施する。また、地域「さくらアリーナ」「村松公園」をはじめとする地域資源の積極的な利用などで地域の方と接点を深める。施設利用者の通所時の交通安全を促す。また避難訓練や消火訓練等も実施し利用者の安全に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらアリーナ」「村松公園」他地域の公共資源を積極的に利用し、地域の方との関わりを深めることができた。 ・通所時における交通事故防止・交通マナー等について朝礼・終礼時に注意を促した。 ・避難訓練では火災を想定した総合訓練に加え、通報訓練・消火訓練を併せて実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民と連携した防災活動の実施
あさひの家	<p>○重点項目</p> <p>(1) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市からの委託相談、計画相談支援、地域相談支援と重層的な相談支援が可能な事業所の強みを活かした様々な相談に対応するとともに、個別の相談から地域に共通する課題をみつけ、五泉市障がい者総合支援協議会を通して「地域づくり」に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五泉市からの委託相談については前年より1,090件増え、年間延べ3,469件であった。 ・五泉市障がい者総合支援協議会関係では、運営会議、地域生活部会、就労部会、相談支援等連絡会、権利擁護連絡会に参加し、地域づくりに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援の進め方について（行政との連携、情報共有）

施設名	計画	報告	課題等
あさひの家	<p>(2) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場が安全・安心且つ楽しく過ごせる場となるよう環境整備及び活動の充実を図る。施設内で出来る手軽な運動を継続し健康増進を図る。また、精神障害に関する正しい理解が普及し、当事者が自身の経験を基に活躍でき、当事者及び家族が安心して暮らせる地域づくりにため、各種講座の開催や、五泉市等が主催する普及啓発事業への協力を継続する。 <p>(3) 新潟圏域障害者生活支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県からの委託を受け、五泉市・阿賀野市・阿賀町における対応困難ケースへの助言及び地域のネットワーク構築に向けた広域的な支援を行う。また、2年後の本事業再編を見据え、各市町担当課、基幹相談支援センター、新潟圏域振興局等と協議を重ねながら円滑な引き継ぎに向けた準備を進める。 	<p>・新型コロナウイルス感染症対策として、各種行事等を中心または縮小開催し対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場の利用については、新型コロナウイルスから利用控えにより前年度より923人減り、年間延べ3,418人であった。 ・例年開催している「こころの健康講座」「ボランティア育成研修会」については、感染症対策として中止した。 <p>・相談支援専門員が抱えている課題に対して、年2回圏域勉強会を開催した。就労系のサービス提供事業所にも参加していただき、情報共有やネットワークの構築を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、ピアサポート活動「ピアたまり場」を年3回開催した。 ・例年開催している「精神障害者の支え合い講座」については、新型コロナウイルス感染症予防対策として中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応の継続 ・ケースに対する関係機関との連携、情報共有 <p>・事業再編に向けた関係機関との役割調整</p>
虹工房	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベント「なないろふえすた」の虹工房との共同開催を、利用者の主体性を尊重しながら継続する。また、各種行事等へ虹の会ボランティア等に参加していただき交流を深めていく。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練を実施し、利用者及び職員の安全確保に努める。 <p>○重点項目</p> <p>(1) 就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に必要な技術や能力を見極め、就労移行支援計画書に沿って個々の状況に応じた支援を行い、ハローワーク等関係機関との連携のもと、利用者の特性や希望に合った就労へつなげる。また、五泉市内1ヶ所の就労移行支援事業所として、利用ニーズに最大限応えるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、「なないろふえすた」については中止した。また、ボランティアの受け入れについても中止した。 ・防災に関しては、避難訓練を7月と11月に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や災害への対応力強化 <p>・関係機関との連携、情報共有</p>

施設名	計 画		報 告	課題等
虹工房	<p>(2) 就労定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労に伴う環境変化による生活面の課題の把握や、その解決に必要な支援及び連絡調整を行い、就労定着を図る。行政や相談支援事業所等と必要性を協議したうえでサービス提供を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当者がおらず、サービスの提供実績はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携、情報共有
	<p>(3) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の能力をのばし目標が達成できるよう、就労継続支援B型支援計画に沿った施設内外の作業の提供及び就労に向けた訓練を行う。また、工賃増を目標に受託作業及び自主製品作成・販売の強化に取り組む。併せて、特別支援学校や基幹相談支援センター等と連携して利用ニーズに応えるよう努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 一般就労を希望する方を対象に、挨拶やコミュニケーションの取り方等を学ぶ「勉強会」を毎月開催した。また、虹工房を卒業し就職されたOBを招き「座談会」を開催した。経験者の話を聞くことにより就労意欲の向上に繋がった。 農福連携事業（お試しノウフク）に参加し、栗収穫の体験を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 収益効率の高い活動の確保（工賃向上）
	<p>(4) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産活動、創作的活動、ボランティアとの交流活動、余暇活動等の日中活動を提供しながら、若年者から高齢者まで幅広い利用者の個々のニーズに応じた支援を実施する。特に高齢化に対応した活動内容の充実を図っていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、各種行事等を中止または縮小開催し対応した。 生産活動や創作活動の他に、月1回「茶話会」を開催し、参加者でお題を決めて会話を楽しんだ。また、毎週金曜日の午後に「リフレッシングタイム」を設け、簡単なゲーム等で脳のトレーニングを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対応の継続 ケースに対する関係機関との連携、情報共有
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域交流イベント「なないろふえすた」のあさひの家との共同開催を、利用者の主体性を尊重しながら継続する。また、虹の会ボランティアと利用者の交流を深めていく。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練を実施し、利用者及び職員員の安全確保に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、「なないろふえすた」については中止した。また、ボランティアの受け入れについても中止した。 防災に関しては、避難訓練を7月と11月に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や災害への対応力強化
たんぽぽ	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事や入浴といった日常生活能力の維持と健康の保持に必要な支援の一つとして、町内の福祉団体と合同で創作活動に関する研修を開催。また、施設内および施設外行事を通して共同生活や社会参加に必要なきまりの習慣化に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防の観点から町内福祉団体との合同研修は中止としたが、町文化祭及び障害者週間に「アマビエ」や「マスクとクマ」を合作した作品など16点を出版。着想に高い評価をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援する側の者としての技能の向上

施設名	計 画	報 告	課題等
たんぼぼ	<p>(2) 就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求められる知識や技能の習得及び向上に必要な訓練を行うと同時に求職活動を支援する。また法人内施設と連携し、企業訪問や見学を行い就労意欲の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に必要な技能の習得に努めた一方で、体力の強化を目的としたスポーツクラブが、単発的な受託作業が入り、運動時間の確保が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の発掘と職員の資質の向上
	<p>(3) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の潜在能力を引き出すため多種多様な生産活動を提供し、地域において自立した日常生活や社会生活ができるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法面保護パネルや飛沫防止パネルなど新たな製品を作るなかで、それまで見えなかった利用者の特技を知ることができ、就労支援収入及び工賃に波及した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による作業能力の低下
	<p>(4) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者そして家族のニーズを的確に把握し、身近な保健、医療、福祉サービスを活用し、総合的なサービスを提供に努める。また、これまでに解決できなかったことや支援に至るまでに時間を要したことについては、地域の課題としてとらえ、阿賀町自立支援協議会や新潟圏域地域生活支援センターなどと協議を重ね、個人の尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができればよい支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者又はその家族が求めている要望などの把握に努め、地域資源を活用したサービスが提供できるように努めた。 	
	<p>(5) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿賀町の委託事業として働くことが困難な障害者が集う場として、創作または生産活動を提供するとともに仲間づくりのための支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要と思われる住民の利用が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在的利用者への周知と交通手段の確保
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者基本法がめざす「地域社会における共生」をさらに推進するため、地域の皆さまにふれあいの場を提供し、障害者に対する理解を深めるとともに心のバリアフリーを進める。地域の一人として、事業所及びその周囲に設置された防災設備が機能するよう日々除草や除排雪を行い環境の整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策の一環として、緑のカーテンを推進。町内の公共施設等でアサガオの苗400株を希望者に配布した。 	

高 齢 福 祉 事 業 部			
計 画			課 題 等
施設名 菅名の里・ま おろしの郷	○重点項目		
	(1) 特別養護老人ホーム事業	<p>・利用者・家族ニーズの高い多床室のなかで、終の棲家として入居者個別の暮らしを提供できるよう、ひとり一人の意思や希望を尊重する「心に寄り添う介護」の充実を図り、自分らしい普通の暮らしが実感できる居心地の良いサービスを提供する。介護事故撲滅、褥瘡ゼロ、感染対策など「安全・安心」が感じられる介護サービスの提供に努める。</p>	<p>・感染対策の継続とケアの質の向上 ・家族への情報提供</p>
	(2) 短期入所、障害短期入所事業	<p>・利用者が住み慣れた地域や自宅で生きがいを持って、自立した日常生活が継続できるよう個別介護計画に基づいたサービス提供に努める。障害短期入所においては、利用者ひとり一人の個別支援事項を整備し、安全で質の高いサービスの提供に努める。また、菅名の里とまおろしの郷の連携を強化し、新規利用者の開拓、受け入れを積極的にを行い在宅介護の支援を推進する。</p>	<p>・感染対策の継続とケアの質の向上</p>
	(3) 通所介護事業	<p>・地域の高齢者人口（65歳以上）がピークを迎える中で、予防から中重度、認知症ケアに至るまで利用者それぞれに幅広く対応する。特に軽度利用者に對しては利用促進の観点から機能訓練、余暇活動プログラムの充実を図る。</p>	<p>・自立支援活動への取り組み ・感染対策の継続と稼働率の向上</p>
(4) 在宅介護支援センター事業	<p>・介護予防、認知症予防に関する各種教室等を開催するとともに、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携強化を図り、「地域包括支援センター」のプラットフォーム機能とともに地域の総合的な相談窓口として機能強化を図る。</p>	<p>・担当者研修の開催</p>	

施設名	計画	報告	課題等
菅名の里・まおろしの郷	<p>(5) 居宅介護支援事業</p> <p>・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。</p>	<p>・処遇困難ケース、緊急ケース等の対応にも積極的に取り組み組んだ。併設する居宅サービス事業所と連携、情報共有すること、迅速かつ適切に課題解決に結びつけることができた。</p>	
	<p>○地域交流・防災</p> <p>・地域行事・地域活動への積極的な参加と協力を行う。馬下地区福祉のまちづくり運動推進委員及びまおろしの郷運営推進委員との連携を図り、地域との結びつきを強化する。防災体制においては定期的にマチュアル等の見直しを行い、地域住民との連携、協力を図りながら災害に備える。</p>	<p>・コロナ禍においては各種地域交流事業も縮小、中止を余儀なくされた。防災協力等、必要不可欠な連携は継続できた。</p>	<p>・コロナ禍における新しい地域交流事業の検討</p>
五泉中央デイサービスセンター 五泉中央サポーター	<p>○重点項目</p> <p>(1) 通所介護事業</p> <p>・通所介護計画に基づき、利用者個々の状況に応じた生活リハビリ、身体的リハビリ及び認知症予防を意識した脳活性プログラム等をバランスよく働きかけ、機能維持・向上・在宅生活の継続を支援する。「褒める」「感謝する」「共感する」姿勢で、利用者が生きがいを感じるようサービスの質の向上に努める。</p>	<p>・可能な限り在宅生活が継続できるように、利用者個々の状況に応じた機能訓練や、認知症予防のための各種活動を行い、利用者の心身機能の低下予防に努めた。</p> <p>・利用者が生きがいを感じ気持ちよく利用していただくよう「褒める」「感謝する」姿勢でサービス提供を行った。</p> <p>・新型コロナウイルスの流行や、大雪による臨時休業も重なり稼働率が低下した。</p>	<p>・自立支援活動への取り組み ・土日の稼働率の向上</p>
	<p>(2) 在宅介護支援センター事業</p> <p>・介護予防、認知症予防に関する各種教室等を開催するとともに、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携強化を図り、「地域包括支援センター」のブラッシュアップとともに地域の総合的な相談窓口として機能強化を図る。</p>	<p>・新型コロナウイルス流行の影響で予定通りに実施できない期間があったが、可能な限り各種予防教室やお茶の間サロンへ出向いての啓発活動等を実施した。</p> <p>・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握を行い、心身機能の低下予防に努めた。また、生活支援コーディネーターとして地域座談会に参加し、地域づくりに取り組んだ。</p> <p>・法人内3在介が連携してサービス提供を行うことができた。</p>	

施設名	計画	報告	課題等
五泉中央デイサービスセンター・五泉中央サポーターセンター	<p>(3) 居宅介護支援事業（老人）</p> <p>・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。障害者相談支援事業の連携体制を強化して、総合的な相談支援の充実を図る。</p>	<p>・処遇困難ケースにも積極的に対応し、関係機関と連携しながら在宅生活継続のための支援を行った。</p> <p>・各種研修は新型コロナウイルス流行の影響で開催が限定的であったが、人数を制限したうえで可能な限り参加した。また、事業所内研修や事例検討会等を通じ事業所全体のスキルアップに努めた。</p>	
	<p>(4) 相談支援事業（障害）</p> <p>・五泉市からの委託相談支援事業、計画相談支援事業、県委託の地域相談支援事業等を活かしながら支援を行う。それにあたり、行政及び五泉市基幹相談支援センター・高齢のワンストップ相談を含めた総合的な相談支援に努め、居宅介護支援事業と連携して多様なニーズに対応する。</p>	<p>・若者のトラブルや高齢化問題等、様々な処遇困難ケースが増加しており、関係機関と連携しながら対応した。</p> <p>・新型コロナウイルス流行に伴い、事業所内研修の他、オンライン研修に積極的に参加し、事業所全体のスキルアップに繋がった。</p> <p>・相談支援専門員の年度中の入れ替わりが多く、対応に苦慮した。</p>	<p>・関係機関とのさらなる連携強化</p>
	<p>(5) 自立生活援助事業（障害）</p> <p>・単身で生活する利用者に、定期的な巡回訪問や随時通報を受けての訪問を行い、相談対応や助言、情報提供、関係機関との連絡調整等の自立した生活を営むために必要な援助を行う。</p>	<p>・令和元年度より事業を行っているが、昨年度に引き続き今年度も利用の依頼がなかった。</p>	
	<p>(6) 新潟圏域障害者地域生活支援センター事業</p> <p>・新潟県からの委託を受け、五泉市・阿賀野市・阿賀町における対応困難ケースへの助言及び地域のネットワーク構築に向けた広域的な支援を行う。また、2年後の本事業再編を見据え、各市担当課、基幹相談支援センター、新潟地域振興局等と協議を重ねながら円滑な引き継ぎに向けた準備を進める。</p>	<p>・圏域内各市町の自立支援協議会への協力及び助言、圏域連絡調整会議の運営協力を行った。</p> <p>・令和3年度で終了する本事業の再編に向け、協議を開始した。</p>	
	<p>○地域交流・防災</p> <p>・立地条件の良さを活かし、地域ボランティア（慰問）の積極的な受け入れ及び学校関係の就業体験等には施設機能を広く開放する。災害時において、職員の役割分担や連絡体制、利用者の安全確保対策を定めるとともに、年2回以上の避難訓練を実施する。</p>	<p>・新型コロナウイルス流行の影響で、例年行っていたボランティアの受け入れや保育所との交流ができなかつた。</p> <p>・感染症対策を十分行った上で、看護学校による看護実習の受け入れを行った。</p> <p>・防災意識を高め、避難訓練、消火訓練、緊急連絡網伝達訓練を2回ずつ行った。</p>	<p>・地域住民との協力体制の構築</p>

施設名	計画	報告	課題等
うずらはし	<p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <p>・ユニットケアを中心とした生活単位を基本に、季節の移り変わりを感ずる行事や食事の提供をする。そして潤いのあるゆったりとした日常生活の流れと家庭的な雰囲気大切に、入居者それぞれの個性や生活リズムに沿った生活を送れるよう支援する。そのため、職員にユニット専任配置、入居者個別の日課、分業化しないう介護を實踐し、入居者のこれまでの暮らしの継続とその人らしいさを保障する。「いつか必ず来るその時」までの悔いの残らない逝き方を本人や家族と一緒に考えて納得のいく「看取り」を實踐する。また、介護の基本に立ち返り、入居者個別の援助方法や生活環境の見直しを図る中で、安全・安心が得られるサービス提供に努め、介護事故ゼロを目指す。</p>	<p>・看護職員の人員不足の状況であったが、家族の思い、また一緒に最期の時を考える機会をもち、16人の退所のうち14人の看取りを實施した。</p> <p>・持ち上げない介護を導入し、入居者の安全な介護と職員の身体負担の軽減を図った。結果介護事故の減少にも繋がった。</p> <p>・コロナ禍における長期的な面会制限のなか、リモート面会や現況報告の増刷等、家族との繋がりのための積極的な情報発信に取り組んだ。</p>	<p>・医療体制の強化</p> <p>・看取りの推進</p> <p>・エビデンスに基づく介護</p> <p>・情報発信の強化</p> <p>・感染症予防対策、感染症対応策の継続</p>
	<p>(2) 通所介護・認知症対応型通所介護事業</p> <p>・通所介護計画や個別機能訓練計画に沿った介護サービスが多職種が連携して提供し、脳活性プログラムを有効的に活用した認知症ケアに積極的に取り組むことで、認知症の進行予防や身体機能の低下予防を図る。また、利用者のこれまでの生活経験を生かした活動を行い、PDCAサイクルに沿って実施することにより、生きがいを持って自立した在宅生活が継続できようとする。利用者の軽度化に対応したサービスの提供にも重点を置く。</p>	<p>・認知症対応の基本となる「誉める・励ます・認める」働きかけが定着し、支援方法が向上した。</p> <p>・利用者の軽度化が進むなか、動画を使用したリハビリを實踐し、リハビリの見える化を図った。また食の楽しみとして贅沢茶話会を開催した。</p> <p>・サービス内容は充実したが、稼働に直結しなかった。</p>	<p>・稼働率の向上</p> <p>・積極的な情報発信</p> <p>・軽度者対策の継続</p> <p>・効果の見えるサービス</p>
	<p>(3) 在宅介護支援センター事業</p> <p>・介護予防、認知症予防等に関する各種教室を開催するとともに、行政・民生委員、居宅介護支援事業所と連携強化を図り、「地域包括支援センター」のプラットフォーム機能とともに地域の総合的な相談窓口として機能を図る。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、訪問と電話確認を織り交ぜた実態把握を行った。地域の教室や集合活動も制限されることが多かったが実態に合わせたサポート活動は取り組めた。行政との意見交換の機会もあり課題等の情報共有ができた。</p>	<p>・担当者研修の開催</p>

施設名	計画	報告	課題等
うすらはし	<p>(4) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。地域・関係機関・専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> 処遇困難ケース、緊急ケース等の対応にも積極的に取り組んだ。併設する居宅サービス事業所と連携、情報共有することで、迅速かつ適切に課題解決に結びつけることができた。 	
梶の郷	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事・地域活動への積極的な参加と協力をを行うとともに、認知症対応型通所介護に係る運営推進会議委員と連携し、地域との結びつきを強化する。防災体制の整備については、地域合同防災訓練を通しての地域住民との連携・協力体制作り、災害時の事業間の協力体制の構築を行っていく。 <p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアを中心とした生活単位を基本として、家族や近隣の日常生活の中で利用者に寄り添った家庭的で温かみのある介護サービスを提供する。個別支援計画及び24時間シートに基づき、多職種協働で入居者の「自立」と「自律」を支援する。立地条件を活かし入居者の生活が閉鎖的にならないよう、季節行事、地域行事等に積極的に参加し地域交流を図る。看取り介護について、入居者の今ままで歩んできた人生を大切にし、職員がチームで入居者、家族に寄り添い、共に悩み考え、「旅立ち」の時までサポートしていく。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣小学校等との交流や地域行事へ積極的に参加、協力する。梶の郷運営推進委員との連携を図り、ボランティアややややの受入、秋季祭礼交流等の地域貢献事業を継続し、地域との結びつきを大切にしていく。日頃の避難訓練や消火訓練の継続、そして、地域消防団や地域住民の協力を得ながらの総合的な防災体制の構築を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により地域合同防災は職員が地域住民役として実施、また運営推進会議は書面での開催となった。 避難受け入れマニュアル、新型コロナウイルス対応マニュアル及び業務継続計画を策定し、対応訓練も実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難計画の策定 業務継続計画に基づいた訓練と研修の継続
		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、長期間の面会制限の中、リモート面会の実施や家族へ本人の現況報告の送付等、家族とのつながりを保てるような取り組みを行った。 退所者3名のうち1名に対して看取りを行った。家族とも相談しながら、体調の良いときに一時的に短時間自宅に帰宅し、家族との交流を持つなどの取組も行った。 昨年比で介護事故が増加となり、再発防止のための取組みを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 面会制限の中で家族とのつながりを保つ取組の実施。 感染対策の継続 事故防止の継続
		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、地域交流として予定していた地域ふれあい健康づくり事業、感謝祭、秋季祭礼交流等は中止となった。 地域住民合同の避難訓練は実施せず、避難訓練は職員が地域住民役として実施した。 運営推進会議は、6回中3回を書面で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画の策定。計画に基づく訓練、研修。 コロナ禍における地域交流事業の検討。

附 属 明 細 書

苦情・事故件数（県・市町村へ報告した事案）

施設名	苦情合計	事故の種別				事故合計	
		※負傷等 (骨折、打撲、裂傷等)	誤飲・ 誤薬	無断外出・ 徘徊等	その他		
障害福祉事業部	いずみの里	0 (0)	6 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (1)
	陽だまり (グループホーム)	0 (0)	1 (0)	3 (7)	0 (0)	0 (0)	4 (7)
	自立就労センターい ずみ	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	第二いずみの里	0 (0)	2 (3)	5 (6)	0 (0)	1 (1)	8 (10)
	満日の里	0 (0)	2 (0)	5 (8)	0 (2)	0 (0)	7 (10)
	なでしこ (グループホーム)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	明日葉	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	きなせ家	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	さくらの里	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	あさひの家	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	虹工房	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
たんぼぼ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
高齢福祉事業部	菅名の里	0 (0)	3 (3)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (5)
	まおろしの郷	0 (0)	2 (4)	1 (4)	0 (0)	0 (0)	3 (8)
	五泉中央デイ・ サポートセンター	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	うずらはし	0 (0)	4 (7)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (9)
	帛の郷	0 (0)	8 (3)	3 (8)	0 (0)	0 (0)	11 (11)
合計	0 (0)	28 (23)	23 (38)	0 (2)	1 (1)	52 (64)	

※負傷等の報告対象事故…（障害）治療に相当期間（1週間以上）を要する場合
（高齢）医療機関への受診を要した場合

※括弧内は令和元年度の合計数

事業所別年間利用者数・稼働率

	施設名	事業名	令和2年度 3月末 現在定員	年間 営業日	令和元年度		令和2年度		前年比 (利用者数) ③-①	前年比 (稼働率) ④÷②
					利用者 数 ①	稼働率 ②	利用者 数 ③	稼働率 ④		
障 害 社 事 業 部	いずみの里	施設入所支援	40	365	14,377	98	14,505	99	128	100.9%
		生活介護	40	365	11,853	81	12,182	83	329	102.7%
		短期入所（併設）	5	365	1,888	103	2,200	120	312	116.6%
	陽だまり	共同生活援助	43	365	14,221	90	13,581	76	-640	84.2%
	自立就労セン ターいずみ	自立訓練(生活訓練)	10	243	1,783	75	1,136	47	-647	62.7%
		就労継続支援A型	6	243	1,095	77	884	61	-211	79.2%
		就労継続支援B型	34	243	7,936	98	8,295	100	359	102.0%
	第二いずみの里	施設入所支援	50	365	18,264	99	17,761	97	-503	98.0%
		生活介護	55	365	13,422	67	13,753	68	331	101.5%
		短期入所（併設）	5	365	1,058	57	1,124	61	66	107.0%
	満日の里	施設入所支援	50	365	17,413	95	17,834	98	421	103.2%
		生活介護	60	365	14,836	68	15,190	69	354	102.1%
		短期入所（併設）	10	365	2,009	55	1,507	41	-502	74.8%
	なでしこ	共同生活援助	20	365	6,946	95	6,667	91	-279	95.6%
	明日葉	生活介護	20	297			2,943	49		
	きなせ家	生活介護	15	306	4,914	106	4,913	107	-1	100.9%
		就労継続支援B型	22	242	5,050	97	4,770	90	-280	92.4%
	さくらの里	生活介護	10	256	2,298	90	2,523	99	225	109.4%
		就労継続支援B型	20	242	4,629	98	5,227	108	598	110.1%
	虹工房	就労移行支援	3	242	576	77	128	18	-448	23.4%
就労継続支援B型		17	242	4,222	99	3,580	87	-642	87.9%	
たんぼぼ	生活介護	6	242	1,025	72	1,272	87	247	120.8%	
	就労移行支援	6	242	205	15	162	11	-43	73.3%	
	就労継続支援B型	20	242	4,392	92	4,688	96	296	104.3%	
菅名の里	介護老人福祉施設	80	365	28,899	98	28,589	97	-310	99.0%	
	短期入所生活介護	20	365	6,755	92	6,873	94	118	102.2%	
	通所介護	34	365	10,743	86	10,684	86	-59	100.0%	
まおろしの郷	介護老人福祉施設	28	365	10,068	98	10,107	98	39	100.0%	
	短期入所生活介護	14	365	4,731	92	4,685	91	-46	98.9%	
五泉中央デイサービスセンター	通所介護	60	365	18,413	84	18,150	83	-263	98.6%	
うずらはし	介護老人福祉施設	60	365	21,591	98	21,795	100	204	101.5%	
	通所介護	30	365	9,482	86	8,980	82	-502	94.9%	
	認知症型通所介護	12	365	3,832	87	3,031	69	-801	79.4%	
帛の郷	介護老人福祉施設	29	365	10,204	96	10,222	96	18	100.0%	

※令和元年度は閏年（366日）

職員数の推移

(4月1日現在在籍数)

※嘱託医除く・産休育休等含む

所属		区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
法人本部		正規	4	4	4	4	5	
		嘱託・準	2	1	2	2	1	
		パート・日給						
法人本部計			6	5	6	6	6	
障害 福 社 事 業 部	いずみの里 (グループホーム含む)	正規	33	39	35	36	35	
		嘱託・準	15	11	11	9	11	
		パート・日給	18	17	14	20	21	
	いずみの里計			66	67	60	65	67
	自立就労センター いずみ	正規	7	6	4	6	6	
		嘱託・準	10	12	14	11	10	
		パート・日給	8	8	8	6	7	
	いずみ計			25	26	26	23	23
	第二いずみの里	正規	30	33	29	29	29	
		嘱託・準	7	6	5	5	5	
		パート・日給	8	5	6	7	7	
	第二いずみの里計			45	44	40	41	41
	満日の里 (グループホーム含む)	正規	38	42	43	44	46	
		嘱託・準	15	13	10	8	7	
		パート・日給	24	25	19	21	20	
	満日の里計			77	80	72	73	73
	明日葉	正規				9	8	
		嘱託・準				5	4	
		パート・日給				1	2	
	明日葉計						15	14
	きなせ家	正規	9	8	8	7	9	
嘱託・準		8	10	10	13	12		
パート・日給		3	2	1	1	1		
きなせ家計			20	20	19	21	22	
さくらの里	正規	6	5	6	6	6		
	嘱託・準	7	6	5	6	6		
	パート・日給	2	4	3	3	4		
さくらの里計			15	15	14	15	16	
あさひの家	正規	7	7	5	5	5		
	嘱託・準							
	パート・日給	1	1	1	1	1		
あさひの家計			8	8	6	6	1	
虹工房	正規	4	3	4	5	3		
	嘱託・準	3	4	6	7	7		
	パート・日給	3	2	1	1	2		
虹工房計			10	9	11	13	12	
たんぽぽ	正規	6	6	6	6	6		
	嘱託・準	5	5	6	5	5		
	パート・日給	8	9	8	10	10		
たんぽぽ計			19	20	20	21	21	
菅名の里	正規	50	55	58	60	61		
	嘱託・準	22	20	15	14	14		
	パート・日給	24	28	25	25	26		
菅名の里計			96	103	98	99	101	
まおろしの郷	正規	18	18	20	20	20		
	嘱託・準	7	4	3	2	2		
	パート・日給	3	6	7	9	10		
まおろしの郷計			28	28	30	31	32	
五泉中央デイサー ビスセンター	正規	21	19	19	20	20		
	嘱託・準	9	10	10	9	8		
	パート・日給	13	13	14	14	13		
五泉中央デイ計			43	42	43	43	41	
五泉中央サポートセン ター (基幹・包括出向含 む)	正規	12	11	18	18	19		
	嘱託・準	1		1	1	2		
	パート・日給							
五泉中央サポ計			13	11	19	19	21	
うずらはし	正規	47	52	49	52	52		
	嘱託・準	19	16	16	13	14		
	パート・日給	5	5	9	11	10		
うずらはし計			71	73	74	76	76	
帛の郷	正規	12	16	16	19	17		
	嘱託・準	12	8	7	6	7		
	パート・日給	4	5	6	6	6		
帛の郷計			28	29	29	31	30	
全体	正規	304	324	324	346	347		
	嘱託・準	142	126	121	116	115		
	パート・日給	124	132	122	136	140		
全体計			570	582	567	598	602	

職員有資格者数（延べ人数）

令和3年3月31日現在

所属	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	社会福祉主事	保育士	喀痰吸引	
法人本部	0	0	0	1	4	0	0	
障害福祉事業部	いずみの里（グループホーム含む）	8	17	2	1	23	9	12
	自立就労センターいずみ	2	4	0	0	6	2	2
	第二いずみの里	6	12	2	2	13	5	6
	満日の里（グループホーム含む）	10	23	2	3	26	11	6
	明日葉	4	3	0	1	4	0	0
	きなせ家	2	5	1	2	10	2	2
	さくらの里	2	5	1	0	4	2	1
	あさひの家	3	1	1	0	3	1	0
	虹工房	2	2	1	0	5	1	0
	たんぽぽ	1	8	1	1	5	0	2
高齢福祉事業部	菅名の里	9	43	3	10	26	2	39
	まおろしの郷	1	15	0	3	9	1	12
	五泉中央デイサービスセンター	5	16	1	5	12	6	7
	五泉中央サポートセンター（基幹・包括出向含む）	8	9	3	11	10	0	1
	うずらはし	7	41	2	13	20	2	35
	帛の郷	2	16	1	7	11	2	14
合計	72(66)	220(221)	21(21)	60(60)	191(182)	46(44)	139(140)	

※括弧内は令和元年度の合計数

職員研修（外部・内部）参加者延べ人数

所属	合計		令和2年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		令和3年1月		2月		3月	
	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部
法人本部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いずみの里（グループホーム） （含む）	29	528	0	11	0	25	0	52	1	111	1	79	2	80	1	54	6	73	5	31	4	12	6	0	3	0
自立就労センターいずみ	11	156	0	2	0	14	0	25	0	34	0	16	0	14	1	15	4	22	1	0	4	14	0	0	1	0
第二いずみの里	5	430	0	6	0	35	0	37	0	69	0	29	0	26	2	35	0	46	2	76	0	40	0	31	1	0
満日の里（グループホーム） （含む）	10	152	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	6	0	109	1	18	1	0	1	19	2	0
明日葉	2	93	0	0	0	0	16	0	32	0	0	0	0	0	2	14	0	0	0	19	0	0	0	0	0	12
きなせ家	10	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	18	5	37	3	0	0	0	1	0
さくらの里	10	73	0	15	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	1	0	2	0	1	33	0	18	0	7	1	0
あさひの家	7	16	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	4	3	2	0	5	0	0	3	0
虹工房	2	31	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	2	8	0	3	0	9	0	0	0	0
たんぼぼ	34	128	0	0	0	0	21	0	15	0	15	0	0	5	3	0	4	18	7	9	7	24	5	41	3	0
菅名の里	52	523	2	12	0	26	0	54	2	29	1	10	5	38	8	3	6	97	7	99	0	25	17	32	4	98
まおろしの郷	13	213	1	8	0	7	0	7	0	39	1	26	1	4	2	21	3	11	2	50	1	4	0	6	2	30
五泉中央アイサービスセンター	8	244	0	21	0	0	0	36	0	0	1	0	0	40	0	40	1	27	2	0	0	0	3	40	1	40
五泉中央サポートセンター	39	98	0	17	8	1	0	12	3	7	2	7	2	8	2	8	1	15	3	16	1	0	1	0	16	7
うずらはし	165	546	0	15	0	0	23	65	3	67	1	42	5	55	5	0	42	62	12	57	4	10	58	111	12	62
梶の郷	17	230	0	9	0	23	0	23	0	0	0	23	0	12	4	17	2	11	7	5	0	18	4	52	0	37
合計	414	3,517	3	116	8	131	23	348	9	419	9	232	24	277	36	214	74	521	58	455	25	179	95	339	50	286